脱施設化ガイドライン案への世界のコメント（2022年6月）　No.72

**マリウス・ハンバサン（ルーマニア）**

**（元施設居住者、最近は地域社会で生活）**

**2022年7月4日**

**Written Submission on the Draft Guidelines on Deinstitutionalisation, including in Emergencies**

**Feedback and comments from** **Marius Hambasan, Romania (a former resident of an institution, since recently living in the community)**

**4 July 2022**

**パート２ 施設収容を終了させる義務**

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| ポイント6 - 言及されていることに同意するが、障害のある人に対してそのような行為を行ったことが判明した者の制裁と制度からの排除に関する段落を追加すべきである。  （訳注　「ポイント」は「パラグラフ」の意味と思われるが、内容的にガイドライン案のパラグラフと合っていないものも多いように思われたので「ポイント」と訳した。）  ポイント9...手当・児童手当......。  子ども／成人の家族再統合を目的としたプロジェクトの開発.........施設からの財政額を充当する。  ポイント10 - 危機的状態の防止では、危機的状態とは、多職種チームの役割の不履行、受益者の利益のための医療、心理・社会計画の欠如である。  - ケースマネジャーの手続きの誤り......。  ポイント11：本人の利益のために、明確かつ迅速で効率的な法的解決策を伴う脱施設化（明確なビジョンを伴い予算化された、県および国の10年間の社会計画／プロジェクトとの関連） ...... 社会プロジェクトと条約の要請との関連。  ポイント15：これらの施設の管理者の雇用条件（最低10年の実務経験と社会的、心理的、医療的援助に関する高等教育など）を変更することによって、示された効果に対処する必要があることを示しています。 |

**パート3 脱施設化プロセスの主要要素の理解と実施**

* 脱施設化プロセス
* 選択する権利および意志と選好の尊重
* 地域に根ざした支援
* 資金と資源の配分
* アクセス可能な住宅へのアクセス
* 脱施設化プロセスにおける、障害のある人を代表する団体を通じての障害のある人の関与

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| **- 脱施設化のプロセス**  生活全般（財政・経済、社会、食生活）において、入居者を励まし、支え、訓練する。脱施設化の移行後の長期にわたる社会的・心理的・感情面のサポート  **- 選択する権利と希望・選好の尊重**  市民社会は、障害のある人に共感だけでなくケアとサポートを提供し、生活のあらゆる側面で障害のある人を励まさなければならない  行政コミュニティは、障害のある人に可能な限りの関心を持ち、障害のある人があらゆる障壁を乗り越えて社会や住みやすいコミュニティに溶け込み、本人の意思に反して居住に関する社会の制度の囚人とならないよう励まし、支援する義務がある。  **- 地域社会での支援**  脱施設者のために長期にわたり、物質的・食料的な資源とともに。  脱施設直後の成人の障害のある人は、自立までの支援のために、地域社会で障害に伴うニーズに応じた長期にわたる経済的・人的支援を必要としている。  **- 資金・資源の配分**  脱施設者のために長期にわたり、物質的・食料的な資源とともに。  （訳注　これと次の一文は編集ミスによる重複と思われる。）  脱施設期直後の成人の障害のある人は、自立までの支援のために、地域社会で障害に伴うニーズに応じた長期にわたる経済的・人的支援を必要としている。    **- 手頃な価格の住宅へのアクセス**  障害のある人の障害の種類に応じて適合化された住宅。  **- 脱施設化プロセスにおける、**障害のある人**を代表する組織を通じての**障害のある人**の関与** |

**パート４ 本人中心アプローチと差別化されたアプローチに基づく脱施設化**

* 交差性
* 障害のある女性および少女
* 障害のある子ども

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| コメントや意見はなく、全面的に同意する |

**パート5 適切な法的・政策的枠組み**

* 適切な法的環境の構築

o 法的能力に対する権利

o 司法にアクセスする権利

o 身体の自由と安全に対する権利

o 平等と非差別への権利

- 法的枠組みおよび資源

o 法制

o 施設環境と施設居住者の状況

o 地域に根ざしたサービス

o 支援システムの場合、新しい要素を特定する

o 人材分析

* 脱施設化戦略および行動計画

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| コメントや意見はなく、全面的に同意する |

**パート6 包摂的な地域支援サービス、システム、ネットワーク**

* 支援システム/ネットワーク
* 支援サービス
* 個別的支援サービス
* 支援機器
* 所得支援

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| コメントや意見はなく、全面的に同意する |

**パート7 他の人と平等な、主流サービスへのアクセス**

* 施設からの退去の準備
* 地域社会で自立した生活を送る

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| コメントや意見はなく、全面的に同意する |

**パート8 紛争を含む危険な状況や人道的緊急事態における緊急脱施設化計画の制定**

* 救済、賠償、補償
* 分類されたデータ
* 脱施設化プロセスの監視
* 国際協力

|  |
| --- |
| **コメントと修正案** |
| コメントや意見はなく、全面的に同意する |

氏名：　マリウス・ハンバサン（Marius Hambasan）

連絡先メールアドレス： marius.hambasan@gmail.com

（翻訳：佐藤久夫、岡本 明）